



沖縄から新しい風

皆様、お元気でしょうか。ご縁がありまして、昨年に続き今回も“てんこもり”で紹介いただける機会を得ました城間保と申します。今回は、奈良先端科学技術大学院大学で産学連携分野を学ぶ研修生の身でしたが、現在は故郷にあります沖縄科学技術大学院大学（OIST：オー・アイ・エス・ティー 別称：オイスト）で、県外で学んだことを事務業務の中で実践する研修生として、来年3月までの期限付きで活動しています。

OISTはリゾート地として知られている恩納村谷茶（おんなそん・たんちゃ）に昨年11月に設立されました。添付の図はロゴマークで、沖縄の守り神の一つ、シーサーをイメージした一筆書きのようなデザインです。私立大学としての位置づけですが、現在は皆様の税金をもとに、内閣府からの補助で運営費のほとんどをまかなっています。大学が設置されたのは、①沖縄の振興および自立的発展に寄与、②世界の科学技術の発展に寄与することを目的としています。また基本理念として、世界最高水準・国際性・柔軟性・世界的連携・産学連携等を掲げていて、それらを達成すべく、半数以上の教員を世界各地から採用、共通言語は英語、施設・機械等は最新の機器を用いて300名以上の研究者が日夜研究を続けており、また大学の成果を沖縄の産業にも結び付けようと努力しているところです。

秋入学導入が話題になって久しいですが、こちらは先んじて秋入学を採用しています。先日9月6日に、アフリカ・米国・ヨーロッパ・アジアを含む18の国々から第1期生34名（うち日本人5人）が入学してきました。博士課程のみの五年間一貫教育で、複数の領域に渡る分野（理数系）を学ぶプログラムと

なっています。学生にとっても恵まれた環境のため、研究成果が期待されます。このような型破りの大学が日本にあることをお見知りおきください。

非日常を求めて沖縄にお越しになるかと思いますが、大学にも立ち寄る時間をつくっていただくと幸いです。平日は見学ツアー（要予約）があり、小高い丘の上の建物からエメラルドブルーの海を臨むことができます。小さいですがカフェもありますので、小休止にいかがでしょうか。また、近くの海沿いにはシーサイドハウスと呼ばれるセミナーハウスで毎日のようにセミナーが開催されています。

現在は、VECの勉強会に参加する機会が遠のいていますが、“てんこもり”やネット情報から皆様の活躍を覗かせていただいていますので、今後ともよろしくお願いたします。



(OIST内センターコート)



OIST

(ロゴ)

沖縄科学技術大学院大学 産学連携コーディネーター
城間 保

◆平成26年には創業100周年を迎えられるエース証券株式会社はVEC入居ビルから2軒西のビルが本社の隣企業です。ベンチャー支援にも積極的で業務内容や理念等をお伺いしました。

—KANSAIアントレプレナーズクラブはどのような組織ですか。

KANSAIアントレプレナーズクラブは、関西で活動拠点とするベンチャー企業の支援を目的に、「関西から日本の産業を元気にしよう」という主旨に則り、平成19(2007)年12月に組成されました。関西ビジネス界が持つ「底力」をこれからの時代を担うであろう企業と結びつけ飛躍させる事により、関西の経済復興を図り、社会に貢献していきたいとの思いで運営しております。

活動は、年に一度総会とプレゼン会・講演会を同時開催しております。今年の5月で7回目を迎え、今年の講演会には約250名の方にご来場頂きました。

そのほか、月に一度会員紹介やイベント情報などを掲載したメールマガジンの配信を行っています。ベンチャーエンタープライズセンター関西支部様にも会員としていつもお世話になっており、先月号のメールマガジンでご紹介文を頂戴致しました。また会員企業様のみならず会員以外の企業様にもご希望に沿った企業のご紹介を随時行っております。現在四半期毎の勉強会の開催を実現すべく活動中です。

—会社概要や理念をお願いします。

【エース証券株式会社概要】

代表取締役会長兼CEO 乾 裕
代表取締役社長COO 伊澤 健
創業 大正3(1914)年2月1日
設立 昭和6(1931)年2月21日
平成26(2014)当社創業100周年(予定)・役職員数417名

【エース証券の理念】

企業理念：お客さまの資産運用・財産形成をサポートする「サービスの質」とその「満足度」において日本一のベストカンパニーを築き上げよう

経営理念：・お客様との信頼関係の確立
・地域社会との信頼関係を高める

・社内の信頼関係の強化
行動理念：・Action 積極果敢に行動します
・Communication お客さまとのより親密な信頼関係を築いてまいります
・Expert 証券のエキスパートとして研鑽につとめます
—どのような業務に力を入れておられますか。

KANSAIアントレプレナーズクラブでは企業間をはじめとする様々なコネクション、パイプ作りのお手伝いに尽力しております。当クラブの会員はベンチャー企業・上場企業・専門家の3つのグループに分かれており、グループ内外の交流をお持ちいただけます。今年の5月に開催致しました会合に於きましては会合終了後、その場でお会いになられた方からのご要望で、8件のご面談のお取次ぎをさせて頂きました。

またクラブの主旨に則り、新規会員の募集も随時致しております。業種や規模は問いません。ご興味をお持ちの方は是非当社事務局エース証券株式会社 法人開発部

06-6267-2103(直通) yabuuchi@ace-sec.ne.jp(メールアドレス)

担当の範囲までご連絡下さい。

皆様とご縁を頂戴できますことをお待ちしております。

—株式公開関連の支援体制をお教え下さい。

弊社は公開特に公開後の支援に三点の特徴を持っています。一つ目は子会社の(株)エース経済研究所のアナリストがアナリストレポートを作成し上場後サポートを行う点。

次に既存の支店営業網だけでなく、2012年9月現在で全国38都道府県に証券仲介業者を全国に189業者有し、全国規模の販売を行えることです。個人株主作りの為に全国的な営業を行います。

三つ目は上場後のIR支援として子会社(株)エースコンサルティングでは海外投資家に向けて英文でのIRツールを作成・配信をサポートしております。

またそれ以外にワンオンワンミーティングのセッティングも行っており、最近3年間で延べ約1,200回のミーティングを執り行っております。現在専門の引受部員を置き、東名阪で営業活動をしております。

「ギャルママとコラボして新商品開発」

大阪の中小企業とギャルママがコラボして、新商品を開発！この夏、マスコミでも注目を集めました。その仕掛け人が、東大阪に本社を置くカワキタの河北一朗社長さんです。



昭和21年の創業。セルロイド金型の製造からスタートした後、成形品分野に進出。その後、工場を持たないファブレス路線を展開、生活雑貨品、ベビー・キッズ用品などをOEM（相手先ブランド）供給されています。中国を生産拠点から市場へと見直し、中国で自社ブランド品の販売を計画。時代の先を見た“人生ワクワク夢創造企業”を目指す元気社長さんです。

○全国に30万人〜40万人のギャルママ

そんな河北社長さんの、もう1つの“ワクワクプロジェクト”が「ギャルママ商品開発部」です。ギャルママとは、10代後半から20代後半のちょっとハデでオシャレな若い母親たちです。全国に30万人〜40万人のギャルママがいると言われています。

「震災復興支援など社会的な活動をしているギャルママも少なくありません」と、見た目とは違ってしっかり子育てに取り組むお母さんでもあります。

そんなギャルママに目をつけました。

○ママバッグ、三輪車などを発売

「ギャルママは主婦層のなかでも少数派。大手が出てこない、中小企業が活躍できるニッチ市場でもあります」と。東大阪、大阪市内の中小企業に呼びかけ、合計6社がギャルママとの商品開発に手を挙げた。

一方、ギャルママは大阪、兵庫、奈良の8つギャルママサークルの会員総勢約340人。各社ごとにギャルママ代表との商品開発会議をスタート。ママバッグ、おもちゃストラップ、チビコカラーTシャツ、デスクセット、カスタム三輪車などが発売されている。

○ソーシャルメディアで販促に

販売に当たっては、ギャルママの情報発信パワーが役立ちます。ギャルママはブログ、ツイッター、フェイスブックなどソーシャルメディアを活用して、仲間とのコミュニケーションをしっかりとっておられます。

自分たちが参加して出来た新商品ですから、仲間に発信してくれます。そうすれば、販売促進にもつながるのです。中小企業にはモノづくり技術があります。ギャルママとコラボすることで、マーケティング、商品開発、販促力を高めることができ、ヒットにつながることを期待しています。

株式会社カワキタ 大阪府東大阪市荒川2-4-6
電話06・6723・0002
<http://www.k-kawakita.com>

日本一明るい経済新聞編集長
四條畷学園大学・短期大学客員教授
竹原 信夫



というきっかけで母国を飛び出した経験から、行動をおこせば何かが変わるということを知っているということであった。悩みや将来に対する考えは日本にいる若者とほとんど変わらないが、一つ違うところは、彼らにとって国籍や言語はハードルではない、自分の夢を実現するのに最適な場所をどこにでも探しにいくという姿勢であった。

世界のどこにいても、夢を持ち、目標に向かっていく時は、自分が生きていると実感する。

将来が見えないからといって悩むことなく、次々と行動を起こしていく。

「夢」は今を生きる力となり、今を生かす力である。

自分の「目標」とは何だろうと考えさせられた旅になった。

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
堺事務所長 阪口 史保



VECレポーターが行く!!

大阪企業家ミュージアム（大阪産業創造館B1F）にて「シャープ100年展」が開催されています。



業績回復が切望されているシャープ株式会社ですが、100周年を記念して「創業者・早川徳次、危機を乗り越えつづけた企業家」のタイトルで早川氏の功績と生涯が展示されています。

その一部をピックアップしてみました。（ホームページから抜粋）

- ・1912年（大正元年）東京・本所で金属加工業を創業。
資本金50円ならず、3人でスタート（小学校を中退し9才で丁稚奉公）
- ・1915年（大正4年）シャープペンシル（早川式繰出鉛筆）を発明。
- ・1923年（大正12年）関東大震災により事業・妻・子供の全てを失う。
- ・1924年（大正13年）大阪に早川金属工業研究所を設立再起。
ラジオの研究に着手。
- ・1949年（昭和24年）株式上場（大阪証券取引所）
- ・1950年（昭和25年）不況により売上は前年の約40%となり倒産の危機となる。
部長長の諸君が懸命に動き、乗り越えられた（早川氏談）
- ・1953年（昭和28年）国産第1号テレビの量産開始。
} 日本で初めて太陽電池の量産に成功。
- ・1967年（昭和42年）世界初のIC電卓を発売。等
- ・1980年（昭和55年）早川氏ご逝去 86才

早川氏は何度も苦難に直面し、そして、その苦難を乗り越え続け、数々の名言も残されました。

例えば・・・

「まことの心をもって、くじけず仕事をしていればいつか必ず勝利者になれる日が来る」「他社にまねされるような商品をつくれ」「信用・資本・奉仕・人材・取引先の5つの蓄積を社是として実践。さらに試練の蓄積がある」

ベンチャースピリットの源泉

今年3月、久々にオーストラリアにいる友人を訪れた。最初にシドニーを訪れて感じたことは、「ここは異文化多様性の国」だということだった。私の友人はバンガラディッシュ人で、彼女はインドで大学を卒業後、会計分野で修士を取ろうと留学している。

彼女の友人は夫々の事情があって海外から来てオーストラリアに滞在している若者ばかりで、将来を切り開こうとしている様子が大変興味深かったのでご紹介したい。

一人目のバンガラディッシュ出身のAさんは、バンガラディッシュの役所で勤務していた経験を持ち、母国では将来を約束されていたものの「母国で上り詰めても収入は天井が見えている」と思い、オーストラリアに留学。現在は市民権を得てマーケティングマネージャーとして企業で働いている。

二人目のサウジアラビア出身の留学生Bさんは大学では授業にはほぼ出席しなかったにもかかわらず教科書を一読してほぼ理解できてしまったという秀才で、iPhoneと日本のアニメ「ワンピース」がお気に入り、新しいものの開発にたずさわることが夢という。イスラム教徒の親が結婚させようとしているのから逃げる目的もあって、日本に留学したいがビザが取れないため、今度はカナダ留学の準備をしているのだという。

三人目のCさんはインド人。20代にも関わらずインドで2つのビジネスをやっていたがインドの因習的な社会に嫌気がさして事業を人に譲ってオーストラリアに来た。現在は医療夜間スタッフとして働きながら、仲間と高級マンションに共同生活し毎日を楽しんでおり、将来は世界を相手にビジネスがしたいという。

彼らに共通しているのは、母国の社会の慣習から解放されたい

～VEC関西より～

◆丁度一年前、てんこもり10月号に野田内閣政策方針、期待できるか？私のコーナーで悲観論を書きましたが、その内閣も今年中に解散総選挙が噂されます。デフレ対策もTPPも全て先送り。ベンチャーもまだまだ冬の時代が続きます。春が必ず来ると信じて新芽を育てましょう。（本田）

♥最近、交通手段として赤バスでの便利な行き方を自身発見し、よく利用することになったがなんと利用が少なくなったという事から来年大阪市は赤バス廃止（3系統以外）が決定となった。私は利用しはじめであるが以前よりよく乗車しておられる高齢者の方々同志で「これからどうしよう？」と車内での不安そうな会話を聞くのも少なくはない。利用されている高齢者の方々の身近な足となっている赤バス廃止は私にとっても複雑な気持ちである。（濱本）

♣沖縄からメッセージを頂きました城間様は以前、奈良先端科学技術大学院大学へベンチャーサポートの為に越えしにいられていました。今は地元沖縄へ戻られ引き続き尽力されています。沖縄はベンチャーサポートや産業育成に産学官で頑張っておられます。（澤村）

◆＜交流会の予定＞

例年どおり12月、1月の開催はございませんが、2月に新年交流会を予定しております

☎06-6263-0366

皆様からのご意見・ご要望お待ちしております！